

經濟論叢

第七十一卷 第二號

-
- ブルジョア經濟學の俗流化と民族問題
..... 出口 勇 藏 (1)
- 實業同志會の向背 市 原 亮 平 (11)
- 庄屋リコールの問題 編 堀 江 英 一 (31)
- は し が き 堀 江 英 一
- 徳川時代における山城國の農民闘争 大 槻 弘
- 備中倉敷における新祿古祿の抗争 内 藤 正 中
- ドイツ鐵鋼業の管理形態 中 村 忠 一 (49)
-

[昭和二十八年二月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會規則

第二條 本會を京都大學經濟學會と稱する
本會は左の會員を以て組織する

(一) 正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師
助手及同學部出身者
京都大學經濟學部學生
本學會に對して壹ヶ年壹万円以上の據

第三條 (一) 正會員 京都大學法學部教授、助教、講師
本會の事務所は京都大學經濟學部内に置く
本會は左の事業を行ふ
「經濟論叢」を發行すること
「經濟論叢」は毎月一回發行すること、但し臨時特

第四條 本會は「經濟論叢」を發行すること
別號を發行することがある
「經濟學研究叢書」を發行すること
毎月一回學術研究を開催すること
毎年一回公開講演を開催すること

第六條 (略)
第七條 (略)
第八條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號は此
會員に左の會費を納めなければならぬ

第九條 正會員 年額 八百円
學生會員 年額 七百円
贊助會員 年額 壹万円以上
購讀會員 年額 八百円以上
但し特別の場合に限り右に定められた會員の外に會
員に準ずる取扱いをする事ができる

第十條 (略)

卒業生名簿發行に當つて

京都大學經濟學部は創立以來すでに三十餘年の歴史を誇り、七千七百三十餘名に上る卒業生各位が實業界、官界、學界その他あらゆる方面に活躍して居られますことは、御同慶に堪えない次第で御座います。卒業生各位の御動靜をお互いに知り合うことは何にかにつけて便利であり、學部將來の發展のためにも都合がよいと存じまして、この度び新たに京都大學經濟學部卒業生名簿を發行することにいたしました。

従來「京都大學經濟學會名簿」がありましたが、昭和十八年發行のものを以て終りとなつて居るばかりでなく「經濟論叢」の購讀會員に限つて、住所、勤務先等を掲げるといふような不都合なものでした。今回の名簿はそのような不都合を除き、卒業生をすべて網羅して居りまして、概要は左の通りです。

- 一、體裁 B5判 縦組 一三〇頁
- 一、内容 卒業年次アイウエオ順に氏名、出身校、住所勤務先、電話番号を掲げ、別にアイウエオ順の總索引を附す。
- 一、發行日 昭和二十七年十二月
- 一、頒價 二百円(送料とも)

この機會にぜひ御購入下さいますより右御案内申上げます。
尙書送金は振替用紙、小爲替を使つてお申送下さい。
昭和二十八年一月

傍点市原)のである。その他三菱をもあわせ、「財閥の轉向」については「財閥轉向の經緯とその背景」(「日本財閥とその解体」)持株會社整理委員會V所載)を参照されたい。

われわれは、この商工黨「實業」國民同志會の政界への出沒を通じて、金融資本家的從屬的「旧民主主義」勢力に絶望した「經濟的中間階級」が、軍部の鐵腕に自らの階級の運命をゆだねることによつて、階級的自殺をまねいた、という一事を確認すれば足りる。

(5) 金融資本は、大戰後恐慌からの脱出路を「封建的土地所有制を上から讓歩的にある程度『改革』することによつて、構造的矛盾を緩和し、同時に國內市場を開始する態勢をとりつゝ、外國資本への從屬性を決定的に強化する方向」(井上晴丸||宇佐美誠次郎「國家獨占資本主義論」六四頁傍点市原)にもとめた。ゆゑにこれを「從屬的旧民主主義勢力」と表現したのである。

(一九五二年八月二日稿了)

〔補〕

本稿は「實業同志會」の結黨母胎である「大日本實業組合連合會」の分析を含んだ長稿の前半を切りとり、かつ後半を半分に圧縮したものである。順序よりすれば「大日本實業組合連合會」の解体とそれが「實業同志會」に發展してゆく社會經濟基盤を解明した別稿を先に發表すべき筈であつたが、手違ひ上逆になつた。別稿は「經濟論叢」にいつれ發表されるであろうから、参照されたい(一九五三年一月十七日記)。

執筆者紹介

出口勇藏 京都大學教授

市原亮平 大阪市立大學 經濟研究所 研究員

堀江英一 京都大學助教授

中村忠一 京都大學助手

既刊目次

第七十卷 第五號

貿易論特集

昭和廿七年
十一月一日發行
定價 五〇圓

外國爲替の純粹理論(1)……………阿部 統
ポンド過剰とドル不足……………小野 一 郎
一九一〇—一四年に於ける
英國勞働運動の性格……………眞藤 素 一

第七十卷 第六號

金融論特集

十二月一日發行
定價 五〇圓

預金通貨と流動性及び利子……………中 谷 實
リカード貨幣信用論の一考察……………小野 一 郎
價值及び價值形態の一考察……………三 上 正 之

第七十一卷 第一號

昭和廿八年一月一日發行
會員定價 二〇〇圓
賣價 二〇〇圓

明治前期の貿易政策……………堀 江 保 藏
中共貿易の諸問題……………谷 口 吉 彦
帝國主義の經濟學……………靜 田 均
價值形態と價值實体……………吉 村 達 次
ドイツ獨占資本とベルリン六大銀行
甘土料の基本的性格……………大 野 英 二
柏 尾 昌 哉

會員

經濟叢書は昨年七月より日々刊行致して
各位へ おりますが、この機会に會費を御納入下
さいますようお願い致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町
京都大學經濟學部内
京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番

- 一、會費 年額 八〇〇圓(前納)
- 一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業
年次、就職先を學會まで御通知下さい。
- 一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和二十八年一月二十五日 印刷 定價 六〇圓
昭和二十八年二月一日 發行

編集兼 前 田 昇 三
發行人

印刷所 株式會社 由良伊之助
京都市中京區千本通二條上ル

發行所 京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番

發賣所 株式會社 有 斐 閣
京都市左京區吉田本町

本社 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
京都支店 京都市左京區北白川
原學館電停前

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 71, No. 2

February, 19

- The Vulgarisation of Bourgeois Economics
and the Problem of Nationality *Y. Deg*
- Formation of the Party "Jitsugyo-doshikai" *R. Ichi*
- Problems on the Recall of "shoya" *E. Horie,*
- Control Form of the Germany Iron
and Seel Iudustry *C. Nakan*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)